

平成 31 年度 東条中学校学校経営方針

加東の教育 「人間力の育成」

— 学びから新しい自分づくりと地域づくりをめざす加東市に！ —

東条地域

小中学校共通の取組

- 主体性の伸長
- 思いやりの心の醸成
- 家庭学習の習慣化

校訓 「明るく」「正しく」「美しく」

学校教育目標 『自ら学び、心豊かに将来をたくましく生き抜く
生徒の育成』

— 「つながりとまとまり」を意識した実践 —

めざす学校の姿

- 生きてはたらく学力を育てる学校
- 学習環境が整備され、落ち着きのある学校
- 学校・家庭・地域が信頼で結ばれている学校

めざす生徒の姿

- 自ら考え主体的に判断し、
学び続けようとする生徒
- 自分を信じ、自己決定できる
生徒
- 自分を大切にし、互いに助け
合う生徒

めざす教師の姿

- 教育に対する情熱を持ち、
学び続ける教師
- 粘り強く「チーム東条」で
対応する教師
- 親の気持ちで考える教師

1 生きてはたらく学力を身につける。 【☆：重点項目】

○生徒が「学習の見通し」を持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を「振り返り（チェックすること）」、次につなげようとする授業を実施する。

★「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点に立った授業改善を図る。

○「家庭学習のススメ」等を活用して、授業と結びつけた家庭学習を充実させ、学習習慣の定着を図る。

2 他を思いやり、互いに高め合う心を育てる。

★発達の段階に応じたキャリア教育を計画し、事前・事後指導を充実させる。また、体験活動を通じて自分の役割を認識させ、*自己有用感を育てる。

○より自分の問題として「よく考え」、自分の考えをより深めていくために、級友と「議論する」道徳の授業（公開）を実施する。

○学校図書館を充実させ、家庭や地域と連携して読書習慣を身に付けさせる。

3 健康な心身を育て、安全に対する意識を高める。

★毎月困ったことカードを実施したり、定期的な教育相談の時間を確保したりする。

○前年度の新体力テストの分析結果に基づく体力づくりを授業や部活動を通して実施し、体力・運動能力の向上に努める。

○警察や保護者と連携して、交通安全教室や交通立ち番指導等を実施する。

4 東条地域小中学校間のつながりとまとまりを実現する。

○公開授業（合同研修会）等を通して、児童生徒理解や教職員の相互理解を深める。

★学校行事や学校オープン等で児童生徒間交流の機会を設ける。

5 心通う集団づくりをめざして、積極的な生徒指導を推進する。

★S CやS S Wを含めた校内生徒支援体制（ケース会議や学年会議）を充実させ、福祉・医療機関等と積極的な行動連携を図ることで、不登校生徒を減少させる。

○OQ テスト等を活用して、生徒の内面理解に努め、構成的グループ・エンカウンター等を活用した人間関係づくりを計画的に実施する。

○ネットトラブル等の人権課題を克服するため、市内4校生徒会が主体となって作成した市内統一や東条中独自のネット・SNS 利用規約の遵守を徹底する。

6 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な特別支援教育を推進する。

★個別の教育支援計画等の計画的な見直しを実施し、本人・保護者の願いを中心に据えて、ライフステージに応じたきめ細かく適切な支援を行う。

○交流学級や他校生徒との交流及び共同学習を積極的に実施する。

○加東市発達サポートセンター「はぴあ」と連携した切れ目のない生徒支援・家庭支援を行う。また、デリコラ（巡回相談）等を積極的に活用する。

7 教職員が心身ともに健康で、働きやすい職場環境づくりを進める。

★学校の業務を整理し、役割分担、適正化を着実に図る。

○働き方改革を推進するため、毎週1回の「定時退勤日」を保護者等へ周知するとともに、教職員の共通理解のもと、確実な実施を推進する。

○練習計画表を校内に掲示することで、生徒や教職員に周知を図り、「ノ一部活デー」を確実に実施する。

*自己有用感は、他者からの肯定的な評価（感謝される、認められること）で高まる。